

# 第105回 定時株主総会

平成21年9月29日

株式会社 アルバック

## ■ 経営環境

### ▶ 日本経済：

- ◆世界的な金融危機、急激な円高の進行、株式市場の下落で企業収益に深刻な影響
- ◆設備投資低迷、雇用情勢の悪化による個人消費の減退

→景気が急速に悪化

### ▶ 世界経済：

- ◆欧米諸国 : 景気後退
- ◆中国などアジア : 輸出の減少で生産調整

→世界同時不況の様相が一段と鮮明に

## ■ 事業環境

### ▶ FPD（フラットパネルディスプレイ）業界

- ◆ 年度前半：台湾中心にパネルの在庫調整で設備投資抑制、延期相次ぐ
- ◆ 年度後半：中国政府の景気刺激策（家電下郷）の影響でアジア中心に稼働率上昇、回復の兆し

### ▶ 半導体業界

- ◆ メモリ関連の市況回復に至らず
- ◆ 採算がとれる水準を下回り厳しい環境が続く



大型テレビ

## ■ 事業環境

### ▶ エネルギー・環境関連

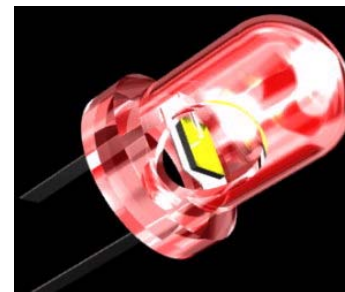
- ◆CO<sub>2</sub>排出量削減といった環境意識の高まり
- ◆「エネルギー・デバイス」の需要増大



太陽電池



ハイブリッドカー・  
電気自動車



LED



二次電池

- ◆クリーンエネルギー政策として注目
- ◆太陽電池市場などの拡大で大幅な増加を期待

## 当社グループの対応

## ■ 当社グループの対応

## ▶ 営業活動

- ◆ 競合他社に先駆け多くの独創的な新製品を市場投入
- ◆ アルバックソリューションズで積極的な受注活動

## ▶ 投資

- ◆ 成長する中国などで事業展開を積極的に実施
- ◆ カスタマーズサポート事業、リサイクルビジネスを推進
- ◆ 新技術・新製品開発の積極投資

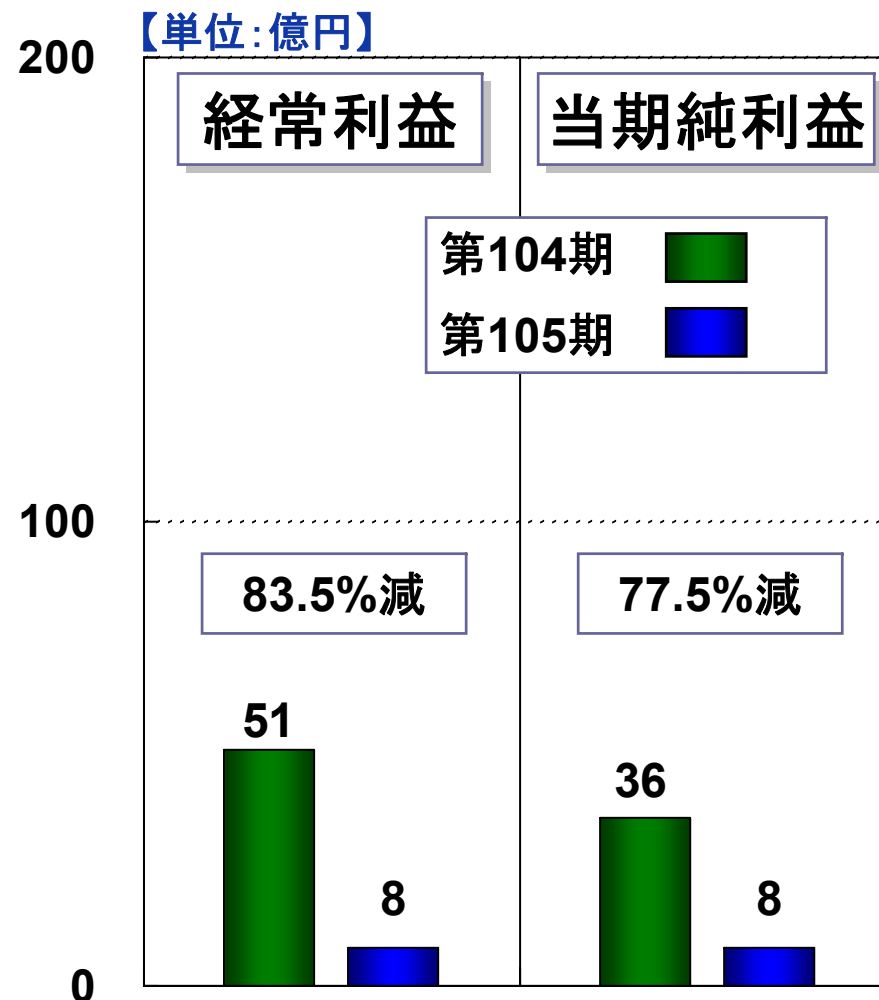
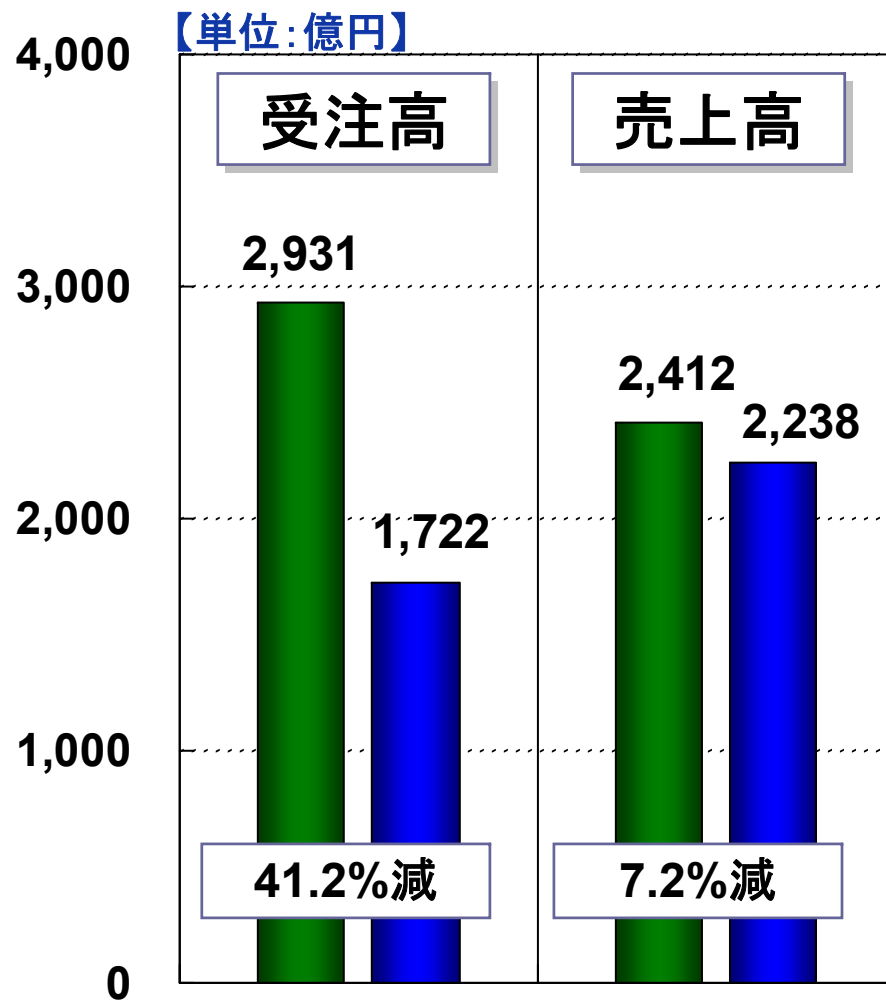
## ▶ 緊急対策の実施

- ◆ 固定費圧縮  
(諸経費削減、設備投資抑制、役員報酬、管理職給与カットなど)

## ▶ コストダウン

- ◆ 標準化など生産改革、グループ内垂直統合と内製化によるもの作りの推進

## 第105期(H21/6期)業績(連結)

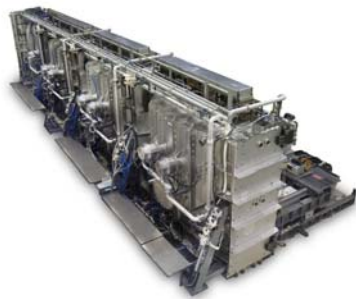


【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

## ■ディスプレイ及び電子部品製造装置

### ▶売上高

- ◆液晶、プラズマ用装置：前期比で減少
- ◆太陽電池製造装置：前期比で増加



大型TV用  
スパッタリング装置  
SMDシリーズ



太陽電池製造装置

### ▶受注高

- ◆金融危機の影響で、薄膜シリコン太陽電池一貫製造ラインは前期比で減少
- ◆年度前半はスパッタリング装置など前期比で減少
- ◆年度後半は家電下郷などの影響で引き合いが増加



■半導体製造装置

- ▶DRAM、フラッシュメモリの供給過剰、需給バランス悪化でメモリ価格下落
- ▶設備投資の凍結・延期で受注環境は回復せず

◆スパッタリング装置  
→受注・売上低迷



ENTRON™-EXシリーズ

◆パワー半導体用スパッタリング装置  
→引き合い・受注堅調



SRHシリーズ

◆LED製造装置  
→引き合い増加



NEシリーズ



### ■コンポーネント

- ▶金融危機の影響でFPD・半導体業界の設備投資の凍結・延期

→受注・売上低迷



大型真空ポンプ



表面形状測定装置

- ▶太陽電池製造装置向け真空ポンプ、自動車業界向け真空ポンプ・計測器

→受注・売上低迷



計測器

■その他(一般産業機器関連)

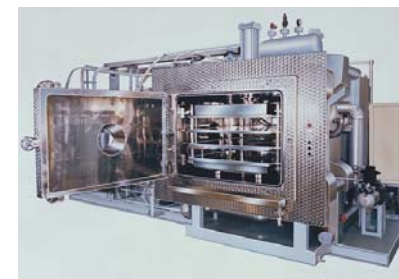
- ▶新製品を市場投入、積極的に拡販活動
- ▶巻取式真空蒸着装置、真空熱処理炉、真空凍結乾燥装置など売上計上



コンデンサー用  
巻取式真空蒸着装置  
EWEシリーズ



自動車部品用  
真空熱処理炉  
FHHシリーズ



医薬品向け  
真空凍結乾燥装置  
DFシリーズ

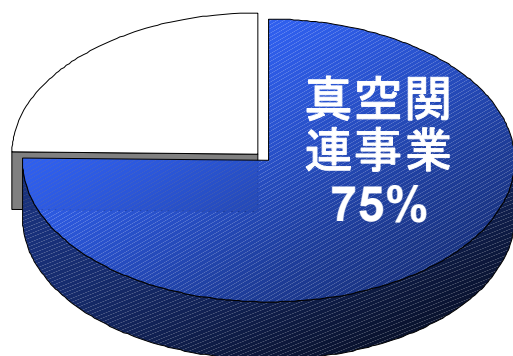
- ▶自動車業界を中心に引き合い・受注が急減、厳しい状況で推移

## 事業セグメント別実績

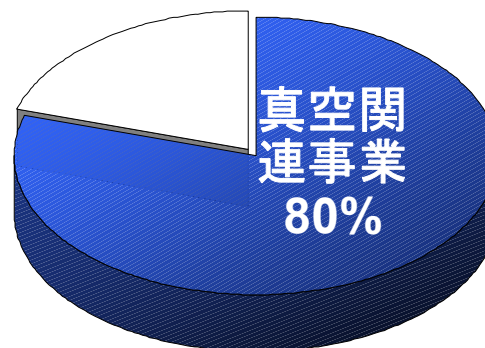
【単位：億円】

事業セグメント	当期受注高		当期売上高		営業損益	期末受注残高	
		前期比(%)		前期比(%)			前期比(%)
真空関連事業	1,298	51.5	1,783	89.0	71	1,021	62.8
その他の事業	424	103.2	455	111.7	△42	53	63.2
合計	1,722	58.8	2,238	92.8		1,079	63.1

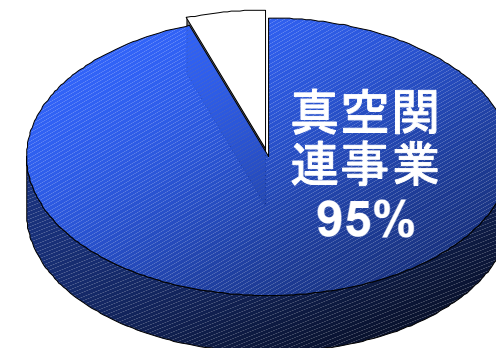
当期受注高



当期売上高



期末受注残高



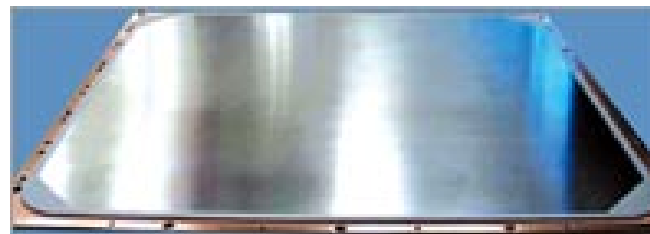
【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

## ■その他の事業

- ▶アルバックソリューションズで積極的拡販活動を実施
- ▶全般的に金融危機の影響で受注・売上が低迷

### ◆材料ビジネス

→生産調整の影響で  
受注・売上が減少



液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲット

### ◆制御関連

→自動車業界向け制御システムの受注・売上が減少

### ◆分析機器関連

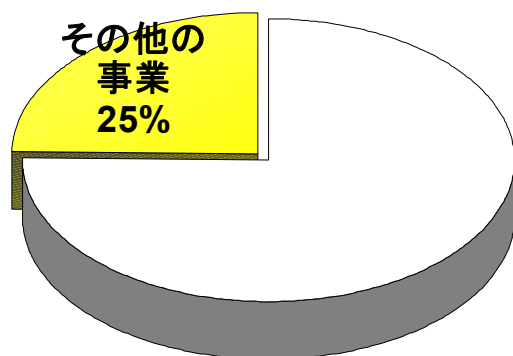
→民間企業で設備投資計画の凍結・延期で  
受注・売上が低迷

## 事業セグメント別実績

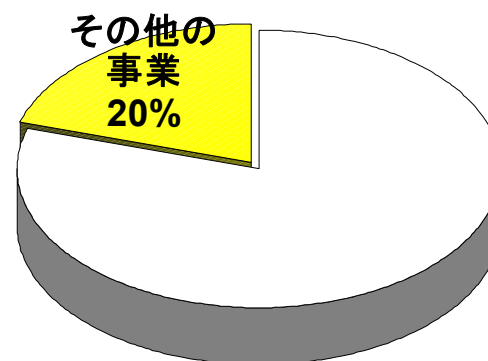
【単位：億円】

事業セグメント	当期受注高		当期売上高		営業損益	期末受注残高	
		前期比(%)		前期比(%)			前期比(%)
真空関連事業	1,293	51.5	1,733	39.0	71	1,021	62.3
その他の事業	<b>424</b>	<b>103.2</b>	<b>455</b>	<b>111.7</b>	<b>▲42</b>	<b>58</b>	<b>68.2</b>
合計	1,722	53.3	2,233	92.3		1,079	63.1

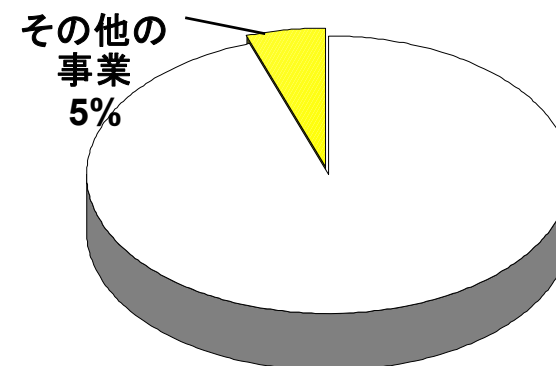
当期受注高



当期売上高



期末受注残高



【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

設備投資の総額:196億円

■ (株)アルバック

FPD等製造装置用建物、電子機器関連  
及び半導体のスパッタリング、CVD、  
エッチングなどの評価装置



■ アルバックマテリアル(株)

電子材料製造用生産設備

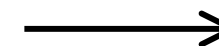


■ アルバック九州(株)

FPD等製造装置向け部品用表面処理設備

■ アルバック成膜(株)

FPD大型マスクブランクス生産用建物・設備

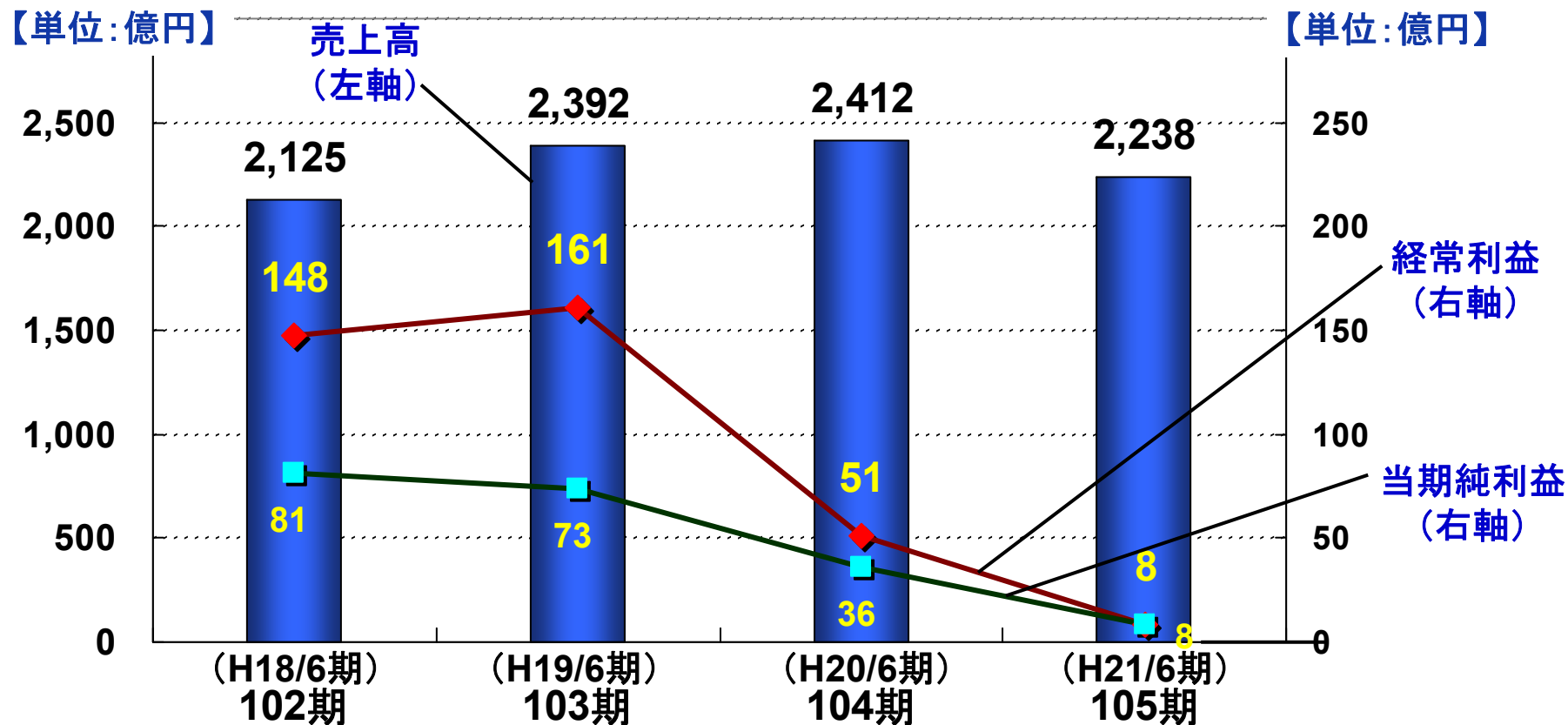




- 社債、新株式の発行等の資金調達は行っておりません。
- 借入金、社債及びコマーシャル・ペーパー  
総額 1,361億円



## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況(連結)



【単位:億円】

総資産	2,694	3,176	3,031	3,181
純資産	876	944	919	902

## ■ FPD、半導体及び電子部品業界の事業環境

### ▶ 中期的:

- ◆ 成長を維持するが設備投資の成長は鈍化

### ▶ 長期的:

- ◆ エネルギー・環境関連市場の太陽電池、ハイブリッドカー・電気自動車、二次電池などの成長が見込まれる

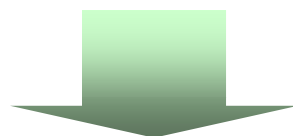
### ▶ 地域的:

- ◆ 中国が全世界の製造業を牽引、著しい経済成長が日本や世界に影響
- ◆ インドなど新興国の成長期待

## ■ FPD、半導体及び電子部品業界の事業環境

### ▶ 製造装置業界

- ◆ 市場価格の下落が継続
- ◆ 製造装置メーカー間でM&Aなど競争激化
- ◆ 韓国、台湾、中国の製造装置メーカーが、競合先としてシェアを獲得



**厳しい競争環境が加速**

## ■ 中長期の成長戦略

- ▶ 既存のFPD、半導体、電子部品製造装置の競争力を高める
- ▶ FPDの次に成長する「4つの柱」を積極的に推進

### 『4つの柱』 (ポストFPD戦略)

- ◆ デジタル家電用電子部品製造装置
- ◆ エネルギー・環境関連製造装置
- ◆ 中国市場
- ◆ カスタマーズサポート事業と委託加工

### ▶ 長期的な成長戦略

- ◆ 装置依存から『脱装置・脱真空』ビジネスの積極展開

① ポストFPD戦略

■ デジタル家電用電子部品製造装置

▶ 化合物半導体 (LED)

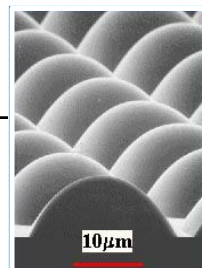
▶ MEMS

▶ 光学薄膜デバイス

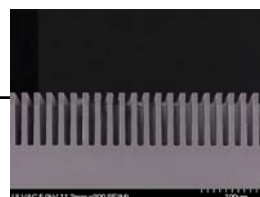
▶ 高密度実装



LED照明



マイクロレンズアレイ



シリコンディープエッチング



エッチング装置



光学薄膜用  
スパッタリング装置



スパッタリング装置

① ポストFPD戦略

■ エネルギー・環境関連製造装置

- ▶ 太陽電池製造装置  
(薄膜系、結晶系、  
化合物系など)



薄膜太陽電池実証ライン

- ▶ 二次電池製造装置
- ▶ ハイブリッドカー・電気自動車用部品製造装置

◆ 永久磁石 (モータ)

◆ コンデンサ

◆ パワー半導体



真空焼結炉



真空溶解炉



真空蒸着装置



スパッタリング装置



イオン注入装置



① ポストFPD戦略

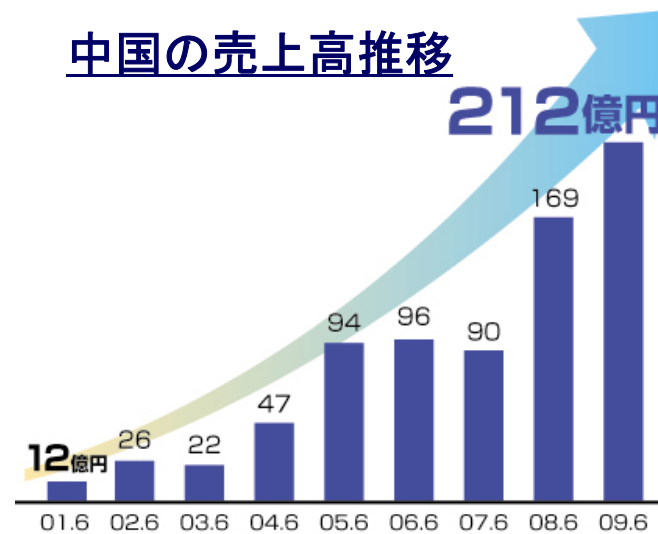
■ 中国市場

製造装置、コンポーネントの  
販売・生産を軌道に



愛発科(中国)投資有限公司  
(通称アルバックチャイナ)

中国の売上高推移





① ポストFPD戦略

■ カスタマーズサポート事業と委託加工

- ▶ ターゲット材料、太陽電池部材、消耗部品、部品洗浄、リサイクル



液晶ディスプレイ用  
スパッタリングターゲット材料



プラズマ溶射による  
防着処理



精密・再生洗浄部品



陽極酸化ライン

- ▶ 委託加工



光学膜加工ライン



ハードマスクブランク

## ②コストダウン戦略

- ▶生産改革の推進
- ▶競合他社に対するコスト競争力の向上

## ③受注拡大戦略

- ▶既存装置のシェア拡大
- ▶「ポストFPD戦略」の積極的推進

## ④財務戦略

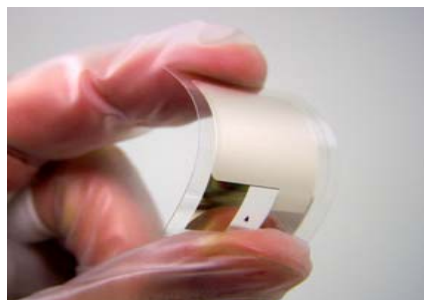
- ▶営業活動によるキャッシュ・フローの獲得に向け収益力の向上と運転資金の圧縮
- ▶商品開発・新規事業開拓戦略の研究開発投資、グローバル戦略の設備投資に充当

## ⑤商品開発・新規事業開拓戦略

独創的で最先端・高収益性が期待できる新製品  
をいち早く開発、市場投入に注力



太陽電池製造装置



薄膜Liイオン二次電池



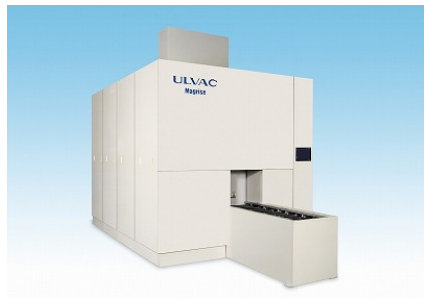
不揮発メモリ製造装置



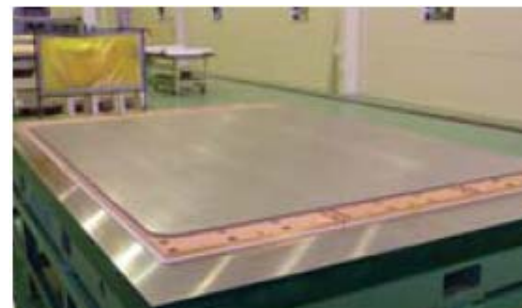
LED製造装置



太陽電池製造装置



希土類焼結磁石製造装置



大型スパッタリング装置用ターゲット材料

## ⑥ グローバル戦略

- ▶ 韓国、台湾、中国など東アジア中心に事業の拡大
- ▶ 米国、欧州、インド、ロシアなどの市場開拓を推進





連結貸借対照表(資産の部)

【単位:億円】

	第104期	第105期	増 減
流動資産	1,866	1,993	127
固定資産	1,165	1,188	23
有形固定資産	938	965	27
無形固定資産	38	38	△ 0
投資その他の資産	189	184	△ 5
資産合計	3,031	3,181	150

資産の部: 150億円増

◆現金及び預金	54億円増
◆たな卸資産	45億円増
◆有形固定資産	27億円増
◆投資有価証券	28億円減

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

【単位:億円】

	第104期	第105期	増 減
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	1,508	1,518	10
固定負債	604	762	157
<b>負債合計</b>	<b>2,112</b>	<b>2,279</b>	<b>167</b>
<b>(純資産の部)</b>			
純資産合計	919	902	△ 17
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,031</b>	<b>3,181</b>	<b>150</b>

**負債の部 : 167 億円増**

- ◆短期借入金・長期借入金 504億円増
- ◆支払手形及び買掛金 251億円減
- ◆前受金 118億円減

**純資産の部: 17 億円減**

- ◆当期純利益 8億円計上
- ◆評価・換算差額等 44億円減
- ◆配当金 9億円支払い

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結損益計算書

【単位：億円】

	第104期 (H20/6期)	第105期 (H21/6期)	前期比
売上高	2,412	2,238	-174 (-7.2%)
経常利益	51	8	-42 (-83.5%)
当期純利益	36	8	-28 (-77.5%)

【( )内は増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】



貸借対照表

【単位：億円】

	第104期	第105期	増 減
(資産の部)			
流動資産	1,196	1,575	379
固定資産	952	952	△ 0
<b>資産合計</b>	<b>2,149</b>	<b>2,527</b>	<b>378</b>
(負債の部)			
流動負債	1,076	1,304	227
固定負債	472	603	131
<b>負債合計</b>	<b>1,549</b>	<b>1,907</b>	<b>358</b>
(純資産の部)			
株主資本	594	619	25
評価・換算差額等	6	2	△ 5
<b>純資産合計</b>	<b>600</b>	<b>620</b>	<b>20</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,149</b>	<b>2,527</b>	<b>378</b>

資産の部

:378億円増

負債の部

:358億円増

純資産の部

:20億円増

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

## 決議事項

---

# 第1号議案

## 剰余金の処分の件

## 第1号議案 剰余金の処分の件

### ■ 期末配当に関する事項

- ▶ 第105期の期末配当につきましては、当期の業績や次期の見通し等を勘案いたしまして、前期の配当を据え置き、以下のとおりといたしたいと存じます。

① 配当財産の種類 金銭

② 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき21円

配当総額 900,968,607円

③ 剰余金の配当が効力を生じる日 平成21年9月30日

## 決議事項

---

### 第2号議案

### 定款一部変更の件

## 定款一部変更の件

### (1) 当社の事業内容の多様化と今後の事業展開に備えるため事業目的を追加

現行定款	変更案
<p>(目的) 第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。 7. <u>機械器具設置工事業</u>  8. <u>土木、建築工事の請負業務並びに建築物の販売</u></p>	<p>(目的) 第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。 7. <u>土木工事、建設工事、機械器具設置工事、電気工事の企画、請負、設計、監理、保守、施工並びに建築物の販売</u> 8. (削除)</p>

### (2) 株券電子化にともなう所要の変更

## 決議事項

---

### 第3号議案

### 取締役6名選任の件

## 第3号議案 取締役6名選任の件

### [取締役候補者(6名)]

藤山 潤樹

加藤 丈夫

佐藤 孔史

本吉 光

齋藤 一也

中野 佳信 (社外取締役)

### [非改選(12名)]

中村 久三

諏訪 秀則

山川 洋幸

常見 佳弘

砂賀 芳雄

五戸 成史

末代 政輔

小田木 秀幸

平野 裕之

山元 正年

中村 孝男

宇治原 潔 (社外取締役)



## 決議事項

---

### 第4号議案

### 監査役1名選任の件

## 第4号議案 監査役1名選任の件

### [監査役候補者(1名)]

**野中 孝男** (社外監査役)

### [非改選(4名)]

**大井 宣夫**

**待鳥 啓信**

**浅田 千秋** (社外監査役)

**小宮路 幸一** (社外監査役)

## 決議事項

---

### 第5号議案

### 役員賞与の支給の件

## 第5号議案 役員賞与の支給の件

当期末時点の取締役17名(うち社外取締役2名)に対し、当期の業績等を勘案して、役員賞与総額111百万円(うち社外取締役分2百万円)を支給することといたしたいと存じます。

なお、役員賞与の支給額につきましては、経常利益率と連動した指数に役位ごとの役員報酬額を乗じた金額となっております。

本日は、まことに  
ありがとうございました。

ULVAC

# 株主懇談会

- 2010年6月期予想と事業戦略
  - ▶ 2010年6月期連結業績予想
  - ▶ 事業戦略



## 2009年6月期のトピックス



'08.7 茅ヶ崎本社工場のリニューアル完成



'08.10 三菱マテリアルと共同で新TFT配線技術を開発

'08.12 世界初薄膜リチウム二次電池の量産技術を開発

'08.12 LED量産用エッチング装置の開発

'09.1 薄膜太陽電池一貫製造ラインが「2008年日経優秀製品・サービス賞」で「日本経済新聞賞」を受賞



'09.3 「働きがいのある会社」で第11位(2年連続ランクイン)

'09.3 第1回「企業のイノベーション力」で第7位(日経ビジネス)

'09.4 茅ヶ崎本社工場内に太陽電池用評価試験設備を新設

'09.6 タンデム型薄膜シリコン太陽電池一貫製造ラインの開発



## 事業環境

### ■ ポジティブ要因

#### ▶ エネルギー・デバイスの成長が始まる

- ◆ 太陽電池: 国内メーカーの本格的な投資開始
- ◆ ハイブリッド・カー: 販売好調で部品メーカーで投資の兆し
- ◆ 二次電池: リチウム、NAS電池など市場拡大
- ◆ LED: 照明、バックライトなどで市場拡大



太陽電池



風力発電



二次電池



LED照明

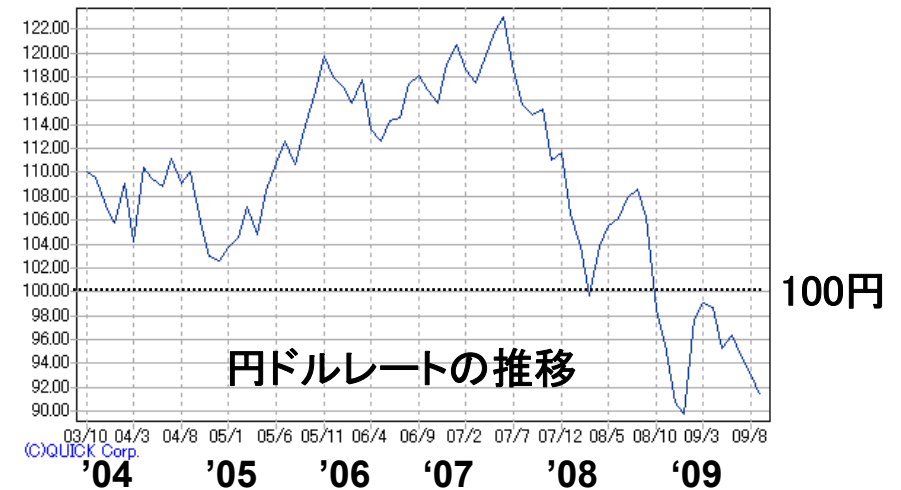
#### ▶ 液晶関連で韓国、中国などで投資回復

#### ▶ 中国の内需刺激策が液晶以外にも影響

## 事業環境

### ■ ネガティブ要因

- ▶ 金融危機の影響が継続し、円高が解消されないと予想



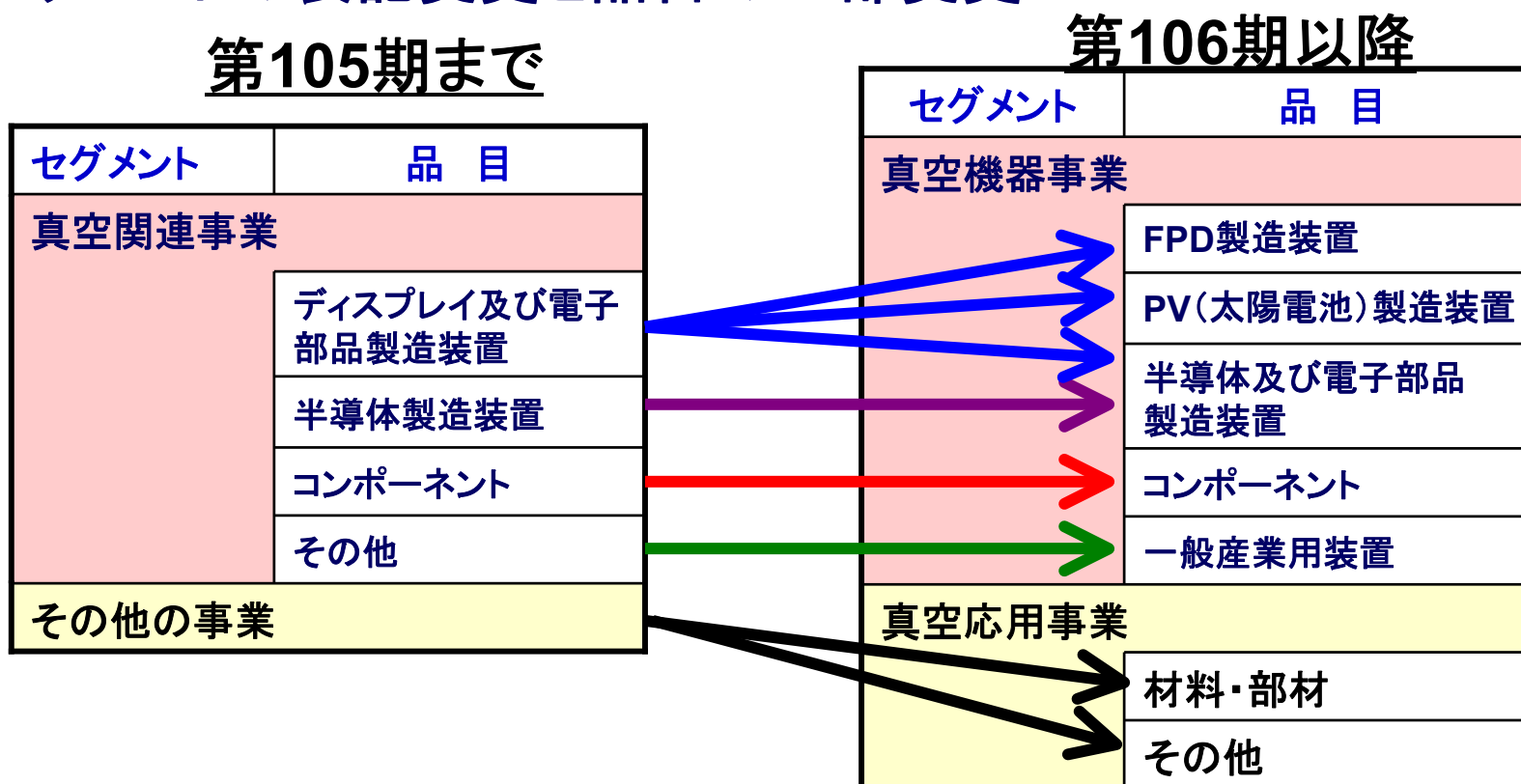
- ▶ 中国、台湾などで太陽電池の投資の回復が鈍い
- ▶ 半導体、自動車業界など設備投資の凍結・延期が続く
- ▶ 価格引き下げ圧力が増長

## 第106期(2010/6期)以降の主な変更点

### ■ 売上計上基準の変更

検収基準、出荷基準から工事進行基準採用  
(主に、PV(太陽電池)、FPD、一般産業機器など)

### ■ セグメントの表記変更と品目の一部変更



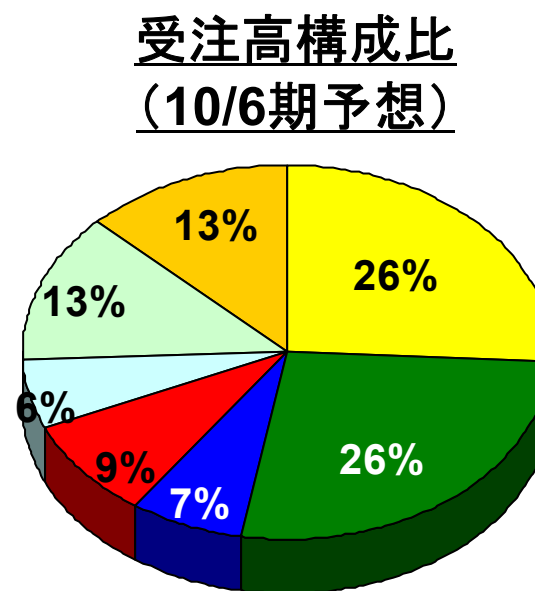
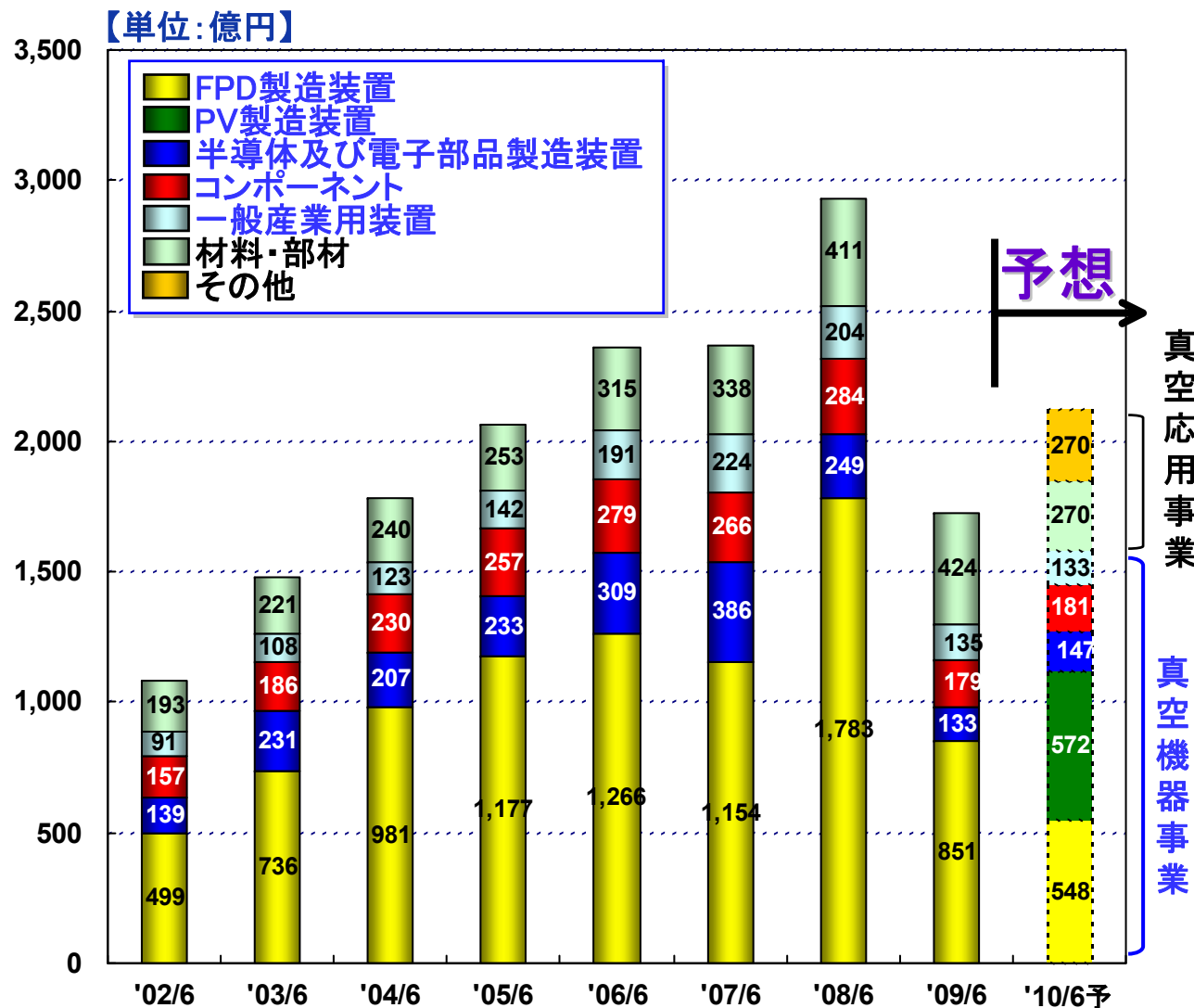
## 第106期(2010/6期)予想

【単位:億円】

	08/6期	09/6期	2010/6期予	
			2Q(累計)	通期
受注高	2,931 (+24%)	1,722 (-41%)	1,112 (-3%)	2,120 (+23%)
受注残高	1,710	1,079	1,192	799
売上高	2,412 (+1%)	2,238 (-7%)	1,000 (-8%)	2,400 (+7%)
営業利益	91 (-45%)	35 (-62%)	-31 ( — )	56 (+61%)
営業利益率	3.8%	1.6%	-3.1%	2.3%
経常利益	51 (-69%)	8 (-84%)	-42 ( — )	31 (+271%)
経常利益率	2.1%	0.4%	-4.2%	1.3%
当期純利益	36 (-51%)	8 (-78%)	-37 ( — )	11 (+36%)

【( )内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

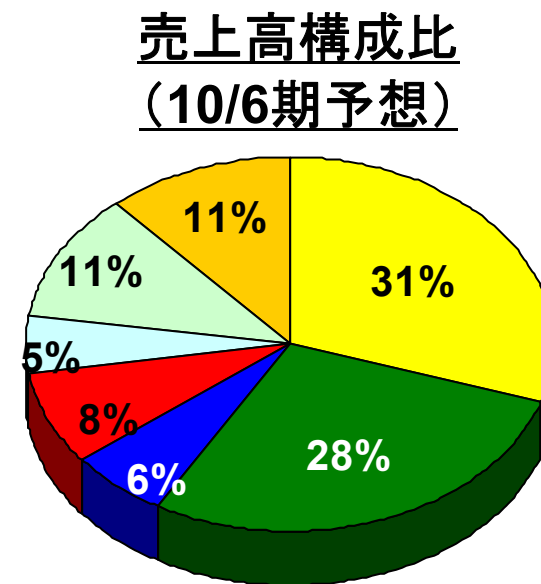
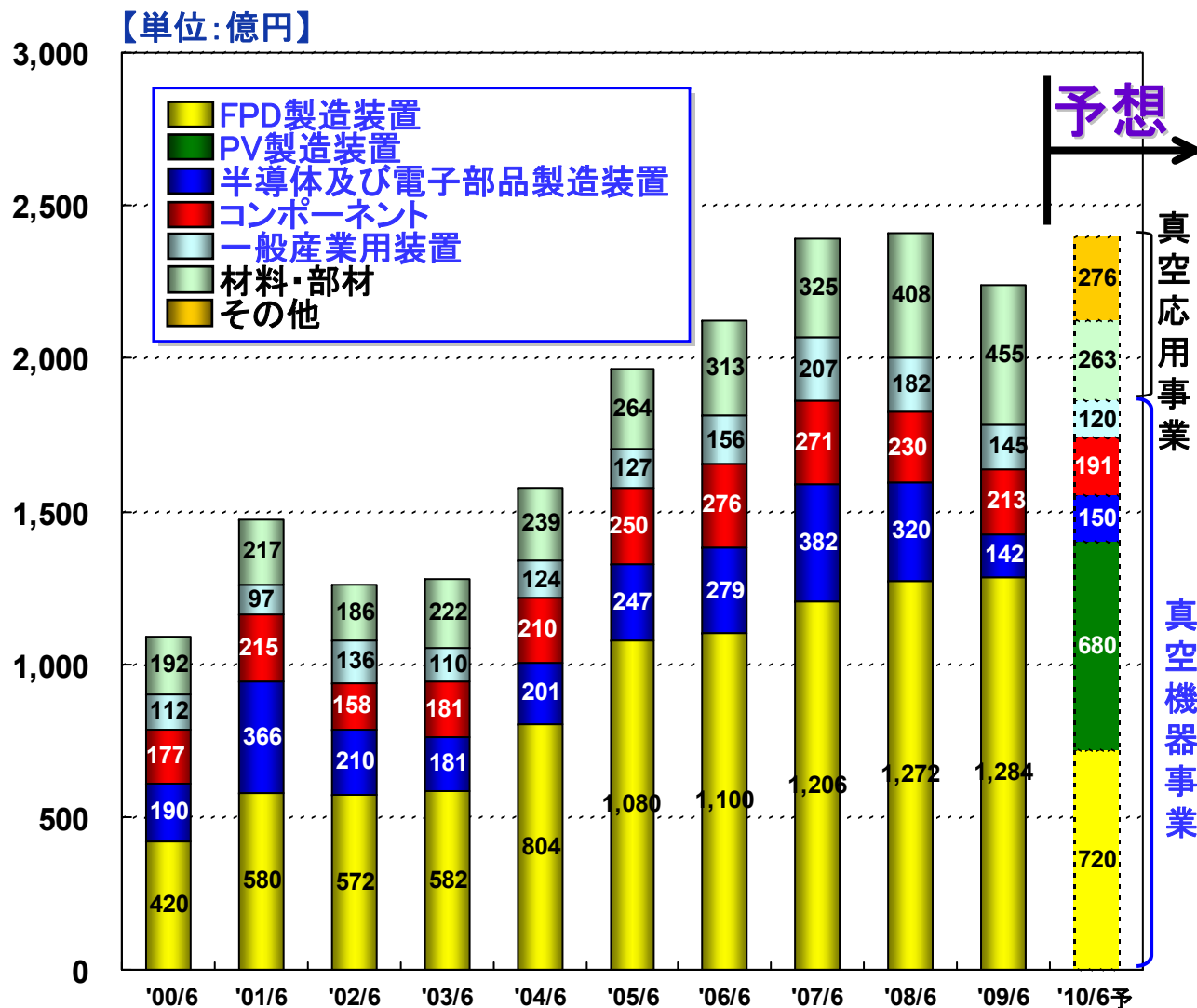
# 品目別受注高実績・予想



【小数点以下は四捨五入】

注) 2010年6月期(予想)よりセグメント及び品目の表現が変更されています。

# 品目別売上高実績・予想



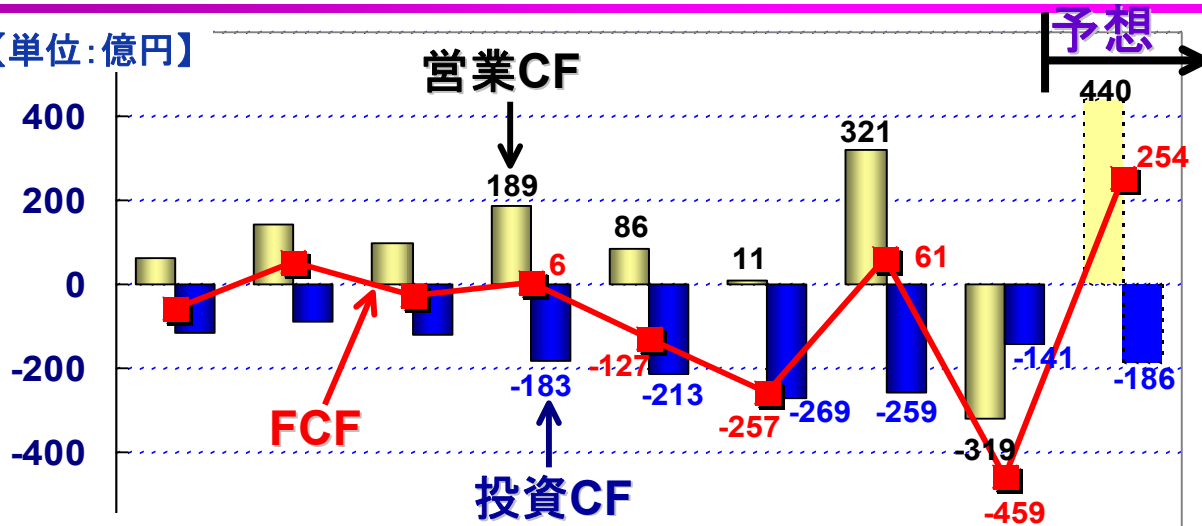
【小数点以下は四捨五入】

注) 2010年6月期(予想)よりセグメント及び品目の表現が変更されています。



# キャッシュ・フローと有利子負債の実績・予想

【単位:億円】

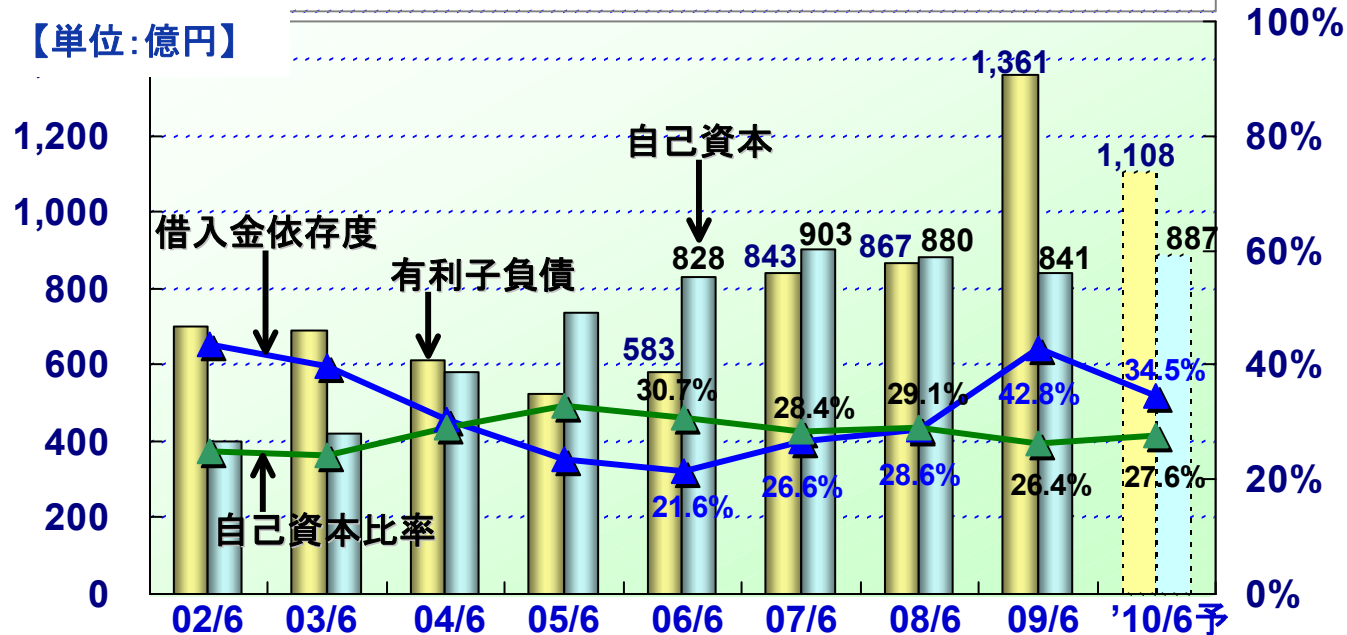


■ **営業CF: 440億円**

・ **資金効率の向上**

- ・ 棚卸資産の圧縮
- ・ 売掛債権の回収促進
- ・ 前受金の確保

【単位:億円】

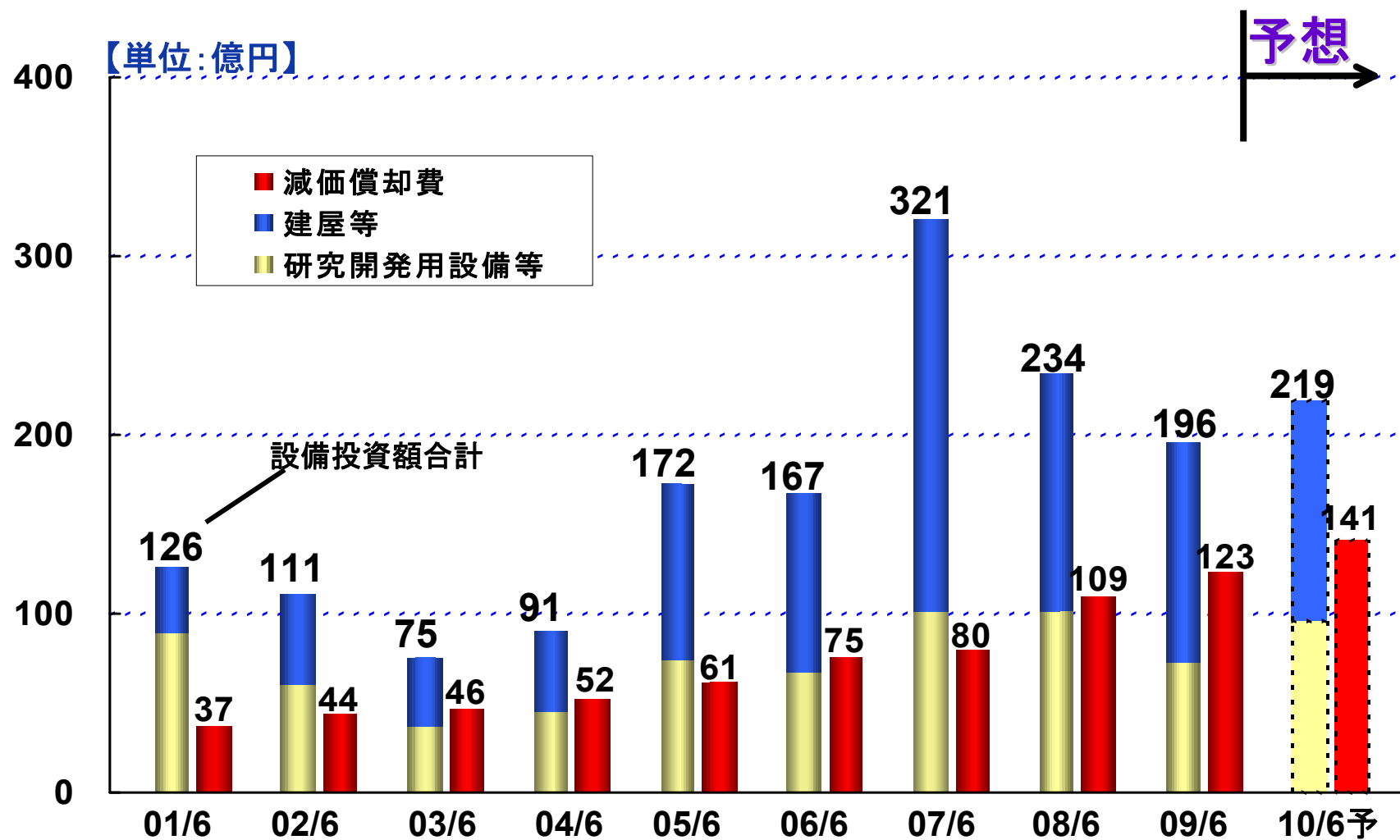


■ **投資CF: ▲186億円**

- ・ 成長戦略投資を実施
- ・ 研究開発投資

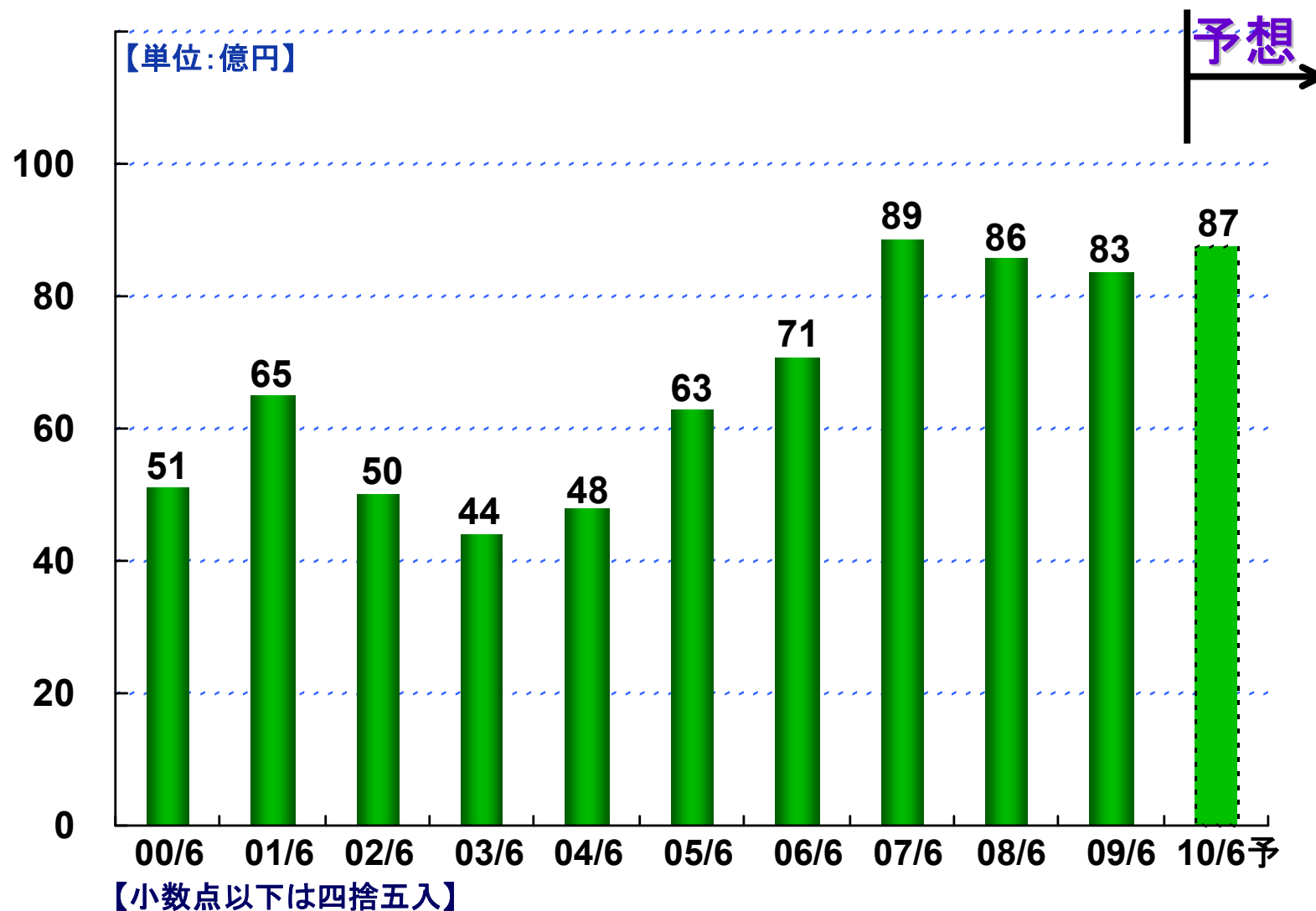
【小数点以下第2位は四捨五入】

# 設備投資、減価償却費の推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

# 研究開発費の推移・予想



## 2010/6期 業績予想(まとめ)

### ■ 受注高

半導体の投資の回復は遅れるが、太陽電池関連(国内)、  
液晶ディスプレイがカバーし増加を予想

→2,100億円

### ■ 売上高:

一部売上基準を工事進行基準に変更することと、  
液晶ディスプレイ関連の受注残が寄与し、増収を予想

→2,400億円

### ■ 収益面

半導体関連の売上鈍化などで利益率は低迷

上期は営業赤字に転落

来期以降に収益性向上の施策を加速

→営業利益率 2.3%

## ■ 2010年6月期予想と事業戦略

▶ 2010年6月期連結業績予想

▶ 事業戦略

## 重点施策

### ■ 強化する事業

#### ▶ 太陽電池関連事業の強化

- ◆ タンデム型薄膜  
Si太陽電池用  
一貫ラインの拡販
- ◆ 部材販売の強化

#### ▶ 材料、委託加工ビジネスの強化



発電効率をアップ



液晶ディスプレイ用  
スパッタリングターゲット材料



光学膜加工ライン



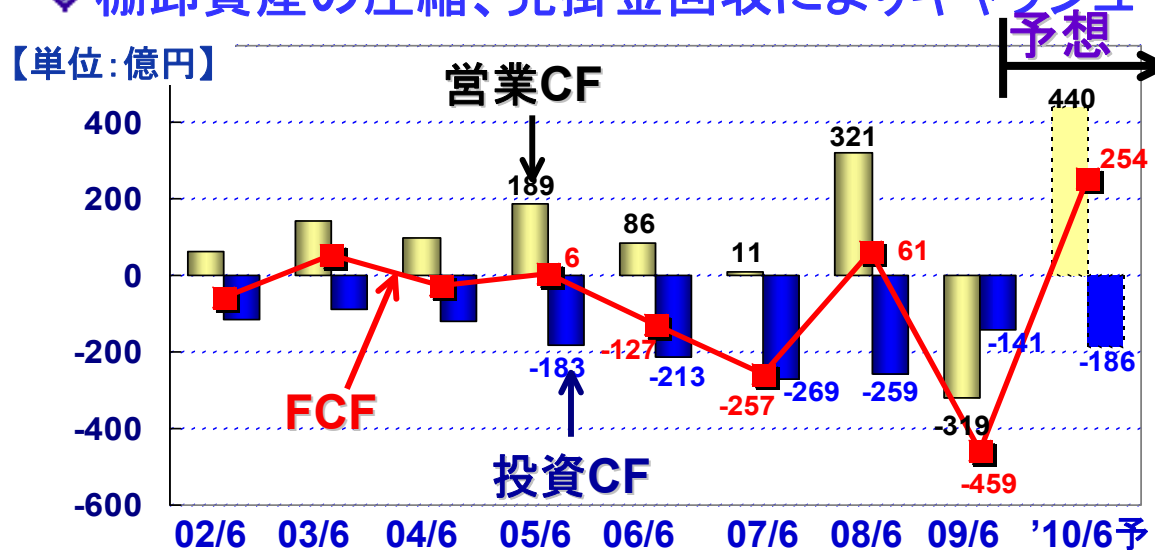
ハードマスクブランク

## 重点施策

### ■ 事業の再編(半導体、FPD、PVなど)

### ■ 財務体質の改善

- ◆ デモ機など資産売却を促進し、減価償却費の低減
- ◆ 棚卸資産の圧縮、売掛金回収によりキャッシュ・フローの改善



### ■ 収益性の改善

- ▶ 追加原価の徹底的削減



## 事業戦略のまとめ(中長期)

### ■ 今後の事業環境

不況は今後1年以上続き、受注の回復はまだ先  
不況の後、経済状況は大きく変化し、縮小傾向へ

### ■ アルバックの対応

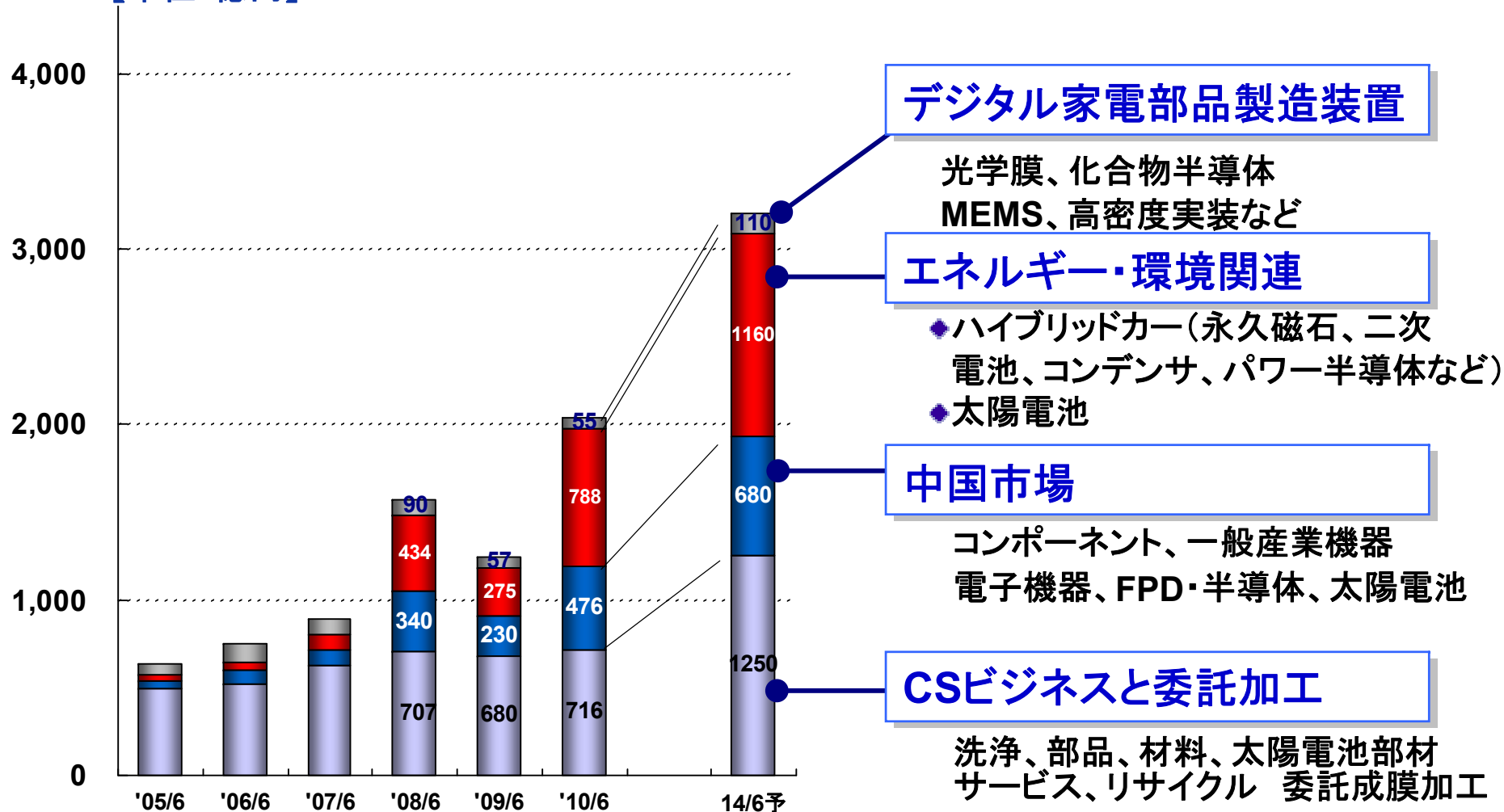
既存ビジネスからの脱皮、転換を図る。装置依存から「脱装置・  
脱真空」ビジネスへの積極展開

### ■ 今後の注力施策

- ①省エネ・省資源関連
- ②材料ビジネス、委託加工
- ③ターンキーソリューションの展開
- ④中国での成長
- ⑤成長が鈍化している分野(事業部、会社)の事業転換

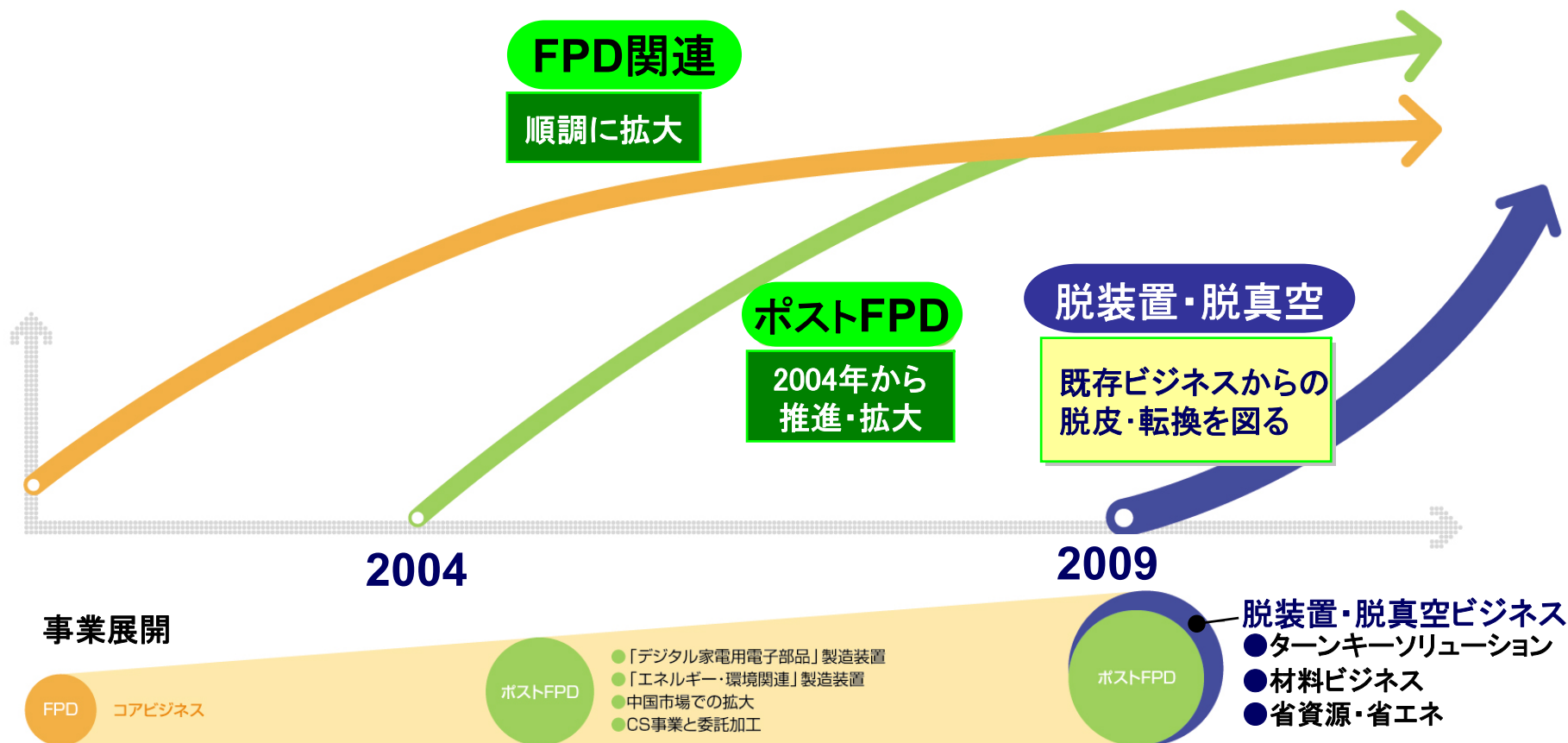
# ポストFPD戦略(受注目標)

【単位:億円】



【上記の各項目の目標受注額は一部重複して合算されています。また、目標受注額は事業規模を判断するための参考値で、当社の連結受注額に合算されない額も含まれています。】

# 「脱装置・脱真空」へ



## ◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

真空テクノロジーで  
「つくる」をつくる、アルバック  
ULVAC

本日は  
ありがとうございました